

【令和7年度 学校法人興國学園 学校評価の実施について】

当学園におきましては、学校評価（自己評価及び学校関係者評価）を実施いたしました。なお、評価の実施に関しましては、「学校評価ガイドライン」に従い適正に実施いたしました。

学校評価の内容完成

1. めざす学校像
2. 中期的目標
3. 自己評価（教職員へのアンケート形式で実施）
4. 本年度の取組内容及び自己評価（実施時期 令和7年9月）
5. 学校関係者評価（実施時期 令和7年10月）

上記の学校はすべて興國高等学校です。以上の結果をそのまま
ホームページに公開いたします。

令和7年10月24日

学校法人 興國学園

理事長 草島葉子

尚、学校関係者評価については、「学校評価」評価委員会が、実施いたしました。

令和7年度 興國高等学校 学校評価

1. めざす学校像

建学の精神

オンリーワン教育を実践し、人間力豊かな人材を育成することを目的とする。

「オンリーワン教育とは、学力という物指は人としての一点を捉えたにすぎず、自分の長所・得意なところで夢や目標を見つけさせ、そこで人間としての力を伸ばしていく教育」

教育目標

- ・社会に役立つ力強い男子を育成する
- ・自分と関わり合う人との縁を大切にし、常に感謝の気持ちを忘れない人を育成する
- ・自分で志を立て、それに向けて地道に努力する人を育成する

2. 中期的目標

①社会のニーズに即したコース・カリキュラム運営

“オンリーワン教育”の展開の概要

偏差値教育だけでは引き出せない生徒一人ひとりの、学習へのモチベーションの向上を、既存の学校教育の枠にとらわれず、あらゆる角度から点検し、大学や専門学校との連携によって、より緻密に個々の目標達成を目指します。特に私学であることの独自性とフレキシブルなカリキュラムの実践と、教材開発や講師採用についても柔軟性を持って対応する。

②授業改革の推進

(イ) 「学校は学びの場である」という原点への回帰

(ロ) 生徒が「学びたい」と思える教育

(ハ) 生徒に「学ばなければ」と思わせる教育

③生徒指導の取組強化

(イ) 基本的生活習慣や公共マナーの確立と指導、また授業内容の充実と発展、並びに環境の整備といった項目を重点目標として取り組む。

(ロ) 公開授業の実施など、授業の充実と生徒の進路目標の確立に向けて、学年団と校務分掌（教育研究部を中心）が連携して取り組む。

(ハ) 進路指導の側面から、進学面では指定校のさらなる拡大と内容の充実を図り、就職面では、求人の新規企業開拓に向けて就職指導と第2学年の早期から企画し、より活性化した新たな就職指導の形態を目指す。

④国際教育の推進

国際的な視野を広げ、グローバルな感覚を持った人間を育てるため、出来るだけ多くの機会を提供出来るようなカリキュラム・行事を実施する。

特に海外短期語学研修や海外研修旅行を充実させる。

3. 自己評価アンケートの結果と分析

毎年、全職員から提出された自己評価並びに次年度の目標設定を記載したシートを基に、管理職との個別面談を実行しています。この面談を通じて、職務に対する姿勢や方向性を互いに認識し合い、資質向上と学校運営の発展に努めています。下記の表は、今年度提出された個々のシートを整理・集約したものです。

＜令和6年度 資質向上自己申告票のまとめ＞

[単位：人]

No.	項目	評価S	評価A	評価B	評価C	評価D	その他	小計
①	校務分掌	3	13	44	32	2	1	95
②	担任業務	1	24	27	18	3	10	95
	副担任業務		1	8	3			
③	教科指導	1	20	43	22	2	7	95
④	クラブ活動	3	14	36	29	5	8	95
小計		8	72	158	104	10	26	380
評価分布状況	令和6年度	2.1%	18.9%	41.6%	27.4%	2.6%	6.8%	
	令和5年度	2.8%	23.8%	41.0%	23.3%	2.3%	7.0%	
	令和4年度	3.3%	20.7%	43.5%	22.0%	6.0%	4.6%	
	令和3年度	2.8%	19.9%	40.6%	25.0%	5.1%	6.5%	

《表の見方》

(イ) 項目の①～④は本校の業務分類です。

(ロ) 評価S～Dは、次のように5段階評価で分類します。

- ・評価S：大幅に目標を上回っている。
- ・評価A：少し目標を上回っている。
- ・評価B：目標通り。
- ・評価C：少し目標を下回っている。
- ・評価D：大幅に目標を下回っている。
- ・その他：該当の業務分担がない教員の人数。

(ハ) 調査対象者は、専任教諭 65名・常勤講師 30名の計 95名です。

(二) 今後の改善点

①教職員の資質向上に向けて

- ・教科間ないし教科外の教員が互いに授業見学を取り入れ、授業の質の向上に役立てています。
- ・新しい取り組みのための研鑽や資格取得等の講習へ積極的に参加しております。
- ・教育の実践に活かすために専門分野の方の講演会を定期的に実施しています。
- ・この他、新任教員の研修にも努めています。

②生徒指導・学習指導・進路指導について

- ・通学路や交通機関利用時並びに自転車通学を含めての登下校時のマナーを徹底します。
- ・クラブ活動や興國寺子屋など課外活動への参加率向上を目指します。
- ・高大連携では、相互に授業の連携を図り、大学進学時に単位認定を考慮する取組みを進めます。
- ・大学入試や社会の要請に応える力をさらに育成するため、漢検・英検受検の充実を図ります。
- ・全コースで学力向上を目指し、勉強合宿実施を進めていきます。

(示) 創立 100 周年に向けた新たな取り組み

学園改革以降、生徒指導と並行して特に注力してきたのが進路指導です。生徒一人ひとりの学力向上を目指すのは言うまでもありませんが、クラス担任が生徒個々の将来に寄り添い懇切丁寧な進路指導ができる力を養うため、教員研修などを積み重ねることで情報の収集と共有に努めてまいりました。その成果として進路保障 100 %を達成し、東京大学 2 年連続、京都大学 9 年連続合格をはじめとした国公立大学 145 名合格はもとより、私立大学の推薦入試制度を効果的に活用して、大学進学率 68.7 %という進学実績を挙げることができます。さらには、宮内庁、内閣府、東京消防庁、警視庁、海上保安庁、自衛隊などの公務員や大手企業から毎年安定的に採用をいただいております。近年は新型コロナのまん延により、人との関わり方や学び方・働き方が大きく様変わりし、併せて多様性を重んじる時代にあって、創立 100 周年というメモリアルイヤーを間近に控えた本学園に与えられた使命は何であるのかを見極めていく必要があると考えております。総じていえば、ONLYONE 教育に象徴される「人間力」をニューノーマルに適応させていくことであろうと捉えています。そのため、以下に挙げた 8 点に関する取り組みを推し進めてまいります。

- ① 生徒や保護者のニーズを先取りしたカリキュラムの編成
- ② 思考力・判断力・表現力を育む探究型の授業を展開
- ③ 主体性・多様性・協働性に重点を置いた実践プログラムの企画・運営
- ④ 学習成果やクラブ戦績などを発信するために SNS を有効利用
- ⑤ リアルタイムで保護者と情報を共有するために連絡用アプリを有効利用
- ⑥ 教職員の資質向上を目指した研修会・勉強会の実施
- ⑦ 耐震対応のためのオンラインキャンパスの改築
- ⑧ 最先端の施設・設備を備えた南館校舎の新築

上記の取り組みを推し進めた結果として、大阪随一の男子校としての魅力を永続させ、興國学園で学びたいと考える生徒の獲得に繋がると確信いたしております。

以上

4. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
○	コース・カリキュラムの改革	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパードラゴンズ2タイプのクラスを始動開始 ～ナレッジサイエンス:自然科学(数・理)重点 ～タ・ヴィンチ:文理融合分野重点 ・プレミアムアドバンスⅠ・Ⅱ類融合後に始動開始 <ul style="list-style-type: none"> ・全生徒へのタブレット配付・運用保守改善 ・専用ソフト活用による業務効率化・経費削減 ・DXハイスクールにおける新設備の導入・運用 	改編後の教育活動 生徒募集状況 改編後の教育活動 生徒募集状況 端末配布および修理対応 タブレット機能更新 ITツールの活用 DX教室の活用	○: 改編後、計画通りにクラス編成を行う ○: R7: 募集定員110名に対し91名入学 ○: 改編後、計画通りにコースを展開している ○: R7: 募集定員80名に対し130名入学 ○: 全生徒分の端末を期日内に納品・配布実施 端末修理フロー改善 学習端末としての機能制限強化 ○: 専用ソフトの業務活用推進 ○: ウルトラワイドPJ機器一式導入 導入後の勉強会・故障対応等実施
○	教育内容充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ADコース(SAD・PAD):国公立合格200人計画1年目 難関大学対応したプログラムの提供 ・モチベーションの向上(各種大学・弁護士事務所・病院等の見学、高大連携による大学授業の受講) ・外部模試受験必須化・クラスの拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・CTコース(公):公務員受験者に対する補習の増強+専門学校でのセミナー受講 ・CTコース(幼):提携保育園との連携強化、各種検定の取得強化 	共通テスト受験者数 国公立合格者100人 必須化クラス数 公務員試験合格者数 検定取得数	○: 共通テスト受験者505名 昨年度比+116名で高水準を維持 ○: 国公立合格145名 昨年度比+9名 4年連続国公立合格者数100名突破 ○: 進研模試+1クラス
	ITB科	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育の充実 ・高大連携授業の拡充 ・興國商人プロジェクト 	タブレット活用授業の充実 連携授業講座数 商品開発	○: チームスを活用した各種アンケートやオンライン授業の実施。検定問題等に関する自宅学習の習慣化にタブレット活用 ○: 4校と特別講習会や施設見学会等を実施 ○: ITビジネス科1年生を中心に、LINEスタンプの企画・作成・販売。
○	授業改善への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちの通信簿(生徒からの授業評価) ・研究授業/公開授業→教科指導研修会 	教科ごとのポイント数 研究授業開催数	○: 本年度は全教科平均85.1点(昨年度比+0.5P) 全教員が授業改革ノートを提出 ○: 研究授業は全教科で実施
○	国際教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリア・ブリスベンでの語学研修プログラムへの参加 ・インターナショナルパーティー ・Weblioオンライン英検対策 ・スウェーデン・リンクヨーピン大学からのインターンシップ生受入 	参加人数 英語学習教材の取り組み 受入人数と評価シート	○: 参加生徒の学習進捗度に合致した語学研修プログラム。現地家庭のホームステイを通じて、異文化コミュニケーションの機会を得た。計41名参加 ○: 本校留学生と日本人生徒との交流会。大阪名物たこ焼きをともに作る体験を通して異文化コミュニケーションの機会を提供。計21名参加 ○: 1対1のオンライン会話のみならず、文法や読解演習にも対応 ○: 約3週間、3名の大学院生を英語科の実習生として受入。言語学習だけでなく校外学習にも帯同し文化交流の機会となっている(評価シートも○)
	生活指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶運動の継続 ・We love you キャンペーン継続～学級委員長&アクティビリーダーのミーティング ・中心に生徒の自主的なクラス運営を目指す ・カウンセリングの機能強化 ・スクールコンシェルジュの活用 ・交通マナーを徹底し通学中の安全を確保する ・薬物乱用防止講習の実施 ・キャッシュレス化に向けたスマホのルール改訂 ・ICT機器の取り扱いルールの改定 	挨拶運動の実施状況 アクティビリーダーのミーティング回数 カウンセリング生徒推移 講習会開催 パトロール時のマナー指導 講習の実施 ルール改定 ルール改定とICTリテラシーの学習	○: 挨拶運動継続中 ○: 各組アクティビリーダーの任命 イベント毎にミーティングを実施 ○: カウンセリングの生徒数の増加 R5年度31名→R6年度43名 ○: 年初に対象者を集め講習会開催 パトロール時の交通マナー指導を徹底 ○: 大阪中央サポートセンターとの連携 ○: ルール改定。自販機及び食券のキャッシュレス化 ○: 違反状況に応じての指導徹底

5. 学校関係者評価

- ① 学校評価全体としては、全職員の自己申告評価は、目標以上となる評価 S・A・B の割合が 62.6% と過半数を大きく上回りました。引き続き高い水準を確保(7 年連続 60% 以上)していることは喜ばしいことあります。教職員の皆様の努力には日頃から感謝しておりますが、100 周年にむけて更なる高見を目指して行く過程であり、管理職の先生方とのコミュニケーションを密にし、各自の目標に向かって頑張って頂きたいと思います。
- ② オンリーワン教育の実践を図るべく、時代のニーズ、生徒一人ひとりのニーズに沿った独自性有るフレキシブルなコース設定は素晴らしいと思います。特に、令和 4 年度入試で、新興國型 5 教科入試(より強みを生かせる上位 3 科目傾斜配分方式)を新たに導入され、これ迄のアドバンスコースをバージョンアップしてプレミアムアドバンス I・II 類を新設及びアカデミアコースに新コンセプトを導入、入学希望者大幅増加の実績は現代の多様性にマッチしている結果と言えます。更に、令和 6 年度入試では更なる進化を目指し、メディカル・サイエンス・エンジニアリング分野で活躍する人材の育成を目指し、自然科学(数・理) 分野に重きを置いたカリキュラムで探究活動や理論的理解を進める [ナレッジサイエンスクラス] と文系理系にとらわれず新しい時代を創造できる男子を育成することを目的に、文系全般から情報分野やバイオテクノロジーをはじめとした文理融合分野などの幅広い進路で自己実現に対応する [ダ・ヴィンチクラス] に分けて指導するカリキュラムに改編。また、プレミアムアドバンス I 類と II 類を融合させ、新たにプレミアムアドバンスとして改編され、これまで培った授業の指導力を 6 時間の授業に凝縮すると共に、課外活動や探究学習に注力することで難関大学進学の実現を目指されるとお聞きしております。今後も教育内容の更なる充実が大いに期待できることは、大変喜ばしいことだと思います。
- ③ 各コース・カリキュラムの改革に於いては、大学進学に重きを置き、早くから生徒の目を大学に向けるべく、高大連携を強化し続けておられる点は、大学進学実績含め大いに評価出来ると思います。これ迄の弛まぬ改革の結果が、国公立大学や医学部、難関私大への合格者数大幅増加に顕著に表れていると理解しております。又、キャリアトライコースでの公務員受験者に対する補習の増強や専門学校との連携強化も奏功しており、今年度も公務員試験一次合格者が 189 名と 3 年連続で高水準を確保されており、素晴らしい結果を出されております。今後も大学入試改革等々に沿った巧みな進路指導に大いに期待するところであります。
- ④ 国際教育の推進面においては、本校参加生徒の学習進捗度に合致した英語学習プログラムでのオーストラリア・ブリスベンでの語学研修に、昨年度を大きく上回る 41 名の生徒が参加。現地家庭のホームステイを通じて異文化コミュニケーションの機会を得られたのは素晴らしい経験だったと思います。スウェーデン・リンショーピン大学からの継続的なインターンシップ受入、ウクライナ情勢から発生した避難民の 2 名受入、ケニア、トンガ、台湾等からの長期留学生の受入も着実に実施されており、本校の国際化は留まる事無く大きく進展していると感じております。多方面から本校の国際教育への期待は非常に大きいものが有るとお聞きしております。次の更なる大きなステージに向けたステップアップを期待しております。

- ⑤ 生徒指導面では、「We love you キャンペーン」を継続され、学級委員長とアクティブラリーダーを中心に生徒の自主的なクラス運営を図られている点は素晴らしいと引き続き実践して頂きたいと考えております。又、スクールコンシェルジュの活用による更なるカウンセリング機能強化については着実に実績があがり、カウンセリング生徒数は昨年の31名から43名に増加しているとお聞きしており、引き続き更なる取組強化を期待しております。
- ⑥ いよいよ令和8年度の創立100周年というメモリアルイヤーを間近に控え、様々な動きを加速していくとお聞きしております。そのような状況では有りますが、引き続き大阪随一の男子校としての魅力を継続させ、更に高い目標にチャレンジして頂きたいと思います。教職員組織も大きくなり、決して1人や2人の努力では、成果が出難くなっています。どうか全員の英知を結集し、チームワークの力で達成して頂きたいと願っております。

以上

令和7年10月24日 「学校評価」評価委員会

興國高等学校 P T A 会長 辻野 祐司
副会長 木下 英
北野 美和